

# 進路室の窓から No.13

2023.1.31



## 2023共通テスト振り返り

この週末、共通テスト追試験・再試験が行われました。全国で3893人と68人が受験する予定です。静岡県内では131人が対象になっています。これで令和5年度の共通テストが修了です。が、受験はこれからです。3年生の皆さんは体調に気をつけて頑張ってください。今年の共通テストも、出題内容、正答訂正、平均点などさまざまな話題がありました。今回は SNS 上での話題を中心に共通テストをふり返ってみます。

### 本試験1日目

**地歴公民** ○地理Aの問題作った人、本当にトラジャ担だったとしたら、共テで推し布教とか強すぎるw。日本史BにはKentとマリおるしw。○倫理・政経で「親ガチャ」話題○世界史の問題で「科挙」が「科挙」と誤植。コブシかい！（訂正紙配布）

チハル 「グループ  
果ガスの高  
ゲンタ 「グループ  
昇を期待し  
シズヤ 「グループ  
化対策の推  
ノエル 「グループ

訂正箇所	46ページ 第3問 B 問5 下から4行目
誤	X …知識人が、科挙を採用せず…
正	X …知識人が、科挙を採用せず…

G:すごい豪邸…、こんな家に生まれた  
H:生まれた家とか国とか、@個人が  
しても変えられないよ。与えられた

Kent:これがF  
マリ:中国地  
地歴公民

**国語** ○ここまで本文が重なっているのと、設問が似通っているのは偶然？（左:ラーズ問題集）

10 次の文章は、平安時代に成立した『後醍醐天皇』の公卿や殿上人たちが豊后のある屋敷に集まり、池に船を立てた船などを用意した場面から始まる。これを読んで、その目になり、人々、皆参り集まりぬ。御船はまうけになりて、鳥がくれより漕ぎ出たるを見れば、なにとなげけり。人々、皆集り分かれて、管絃の具ども、御前より申し、南の普賢宮に、宇治の僧正、僧都の君と申しける時ち、大人、若き、集まりて、庭にのみなみたり。童、とも法

問2 波線部a-eの説明として最も適当なものを  
① a 「いとをかしかりけり」は地の文の  
② b 「御修法しておはしけるに」の主語は  
③ c 「連歌などさせせむは」は、尊歌の助  
④ d 「とや申さむ」の「や」は疑問の係助  
⑤ e 「いかに遅し」は「いつ」が

その目になりて、人々、皆参り集まりぬ。はりて、鳥がくれより漕ぎ出たるを見り。

- ① a 「若からむ」は、「らむ」が現在
- ② b 「さに侍り」は、「侍り」が丁寧
- ③ c 「まうけたりけるにや」は、「や」が
- ④ d 「今まで付けぬは」は、「ぬ」が
- ⑤ e 「覚えずなりぬ」は、「なり」が

問2 波線部a-eについて、語句と表現に  
号は 24

文章量多すぎだろ!!  
目が疲れた。  
問題傾向変えるな  
一日目  
国語→国語→国語  
→英語→英語

**英語 (リーディング)** ○クマムシ登場 ○「クマムシは人間よりも生き延びるかもしれない」が正答になり、話題になりました。これは調べれば分かるのですが、「クマムシは湿度が高い場合、高温になると死んでしまう」という事実があり、この正答は必ずしも正しくないことがすぐに分かります。知識が軽視された悪問です。○コミュ障で卓球部に入る男の子の話。

**英語 (リスニング)** ○この4人にしか見えない↓○ Does this go here? No that's for glass that goes



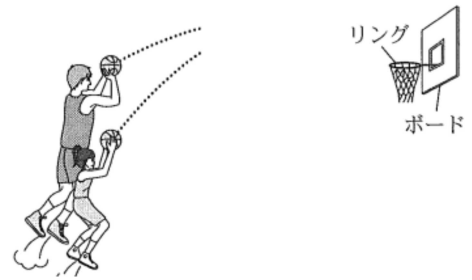
here. 声しか聞こえないのにあっちとかこっちとか言っててイライラしたw

### 本試験2日目

**理科①** ○地学基礎のジオくん今年も登場せず(大学卒業説) ○訂正紙あってどうせ関係ないやろって開いたらしっかり生物基礎で関係あって焦った。普通に難化。○生物基礎が考察問題多く終わったって思ったけど地学基礎が覚えてたらいける問題ばっかで救われた



数学① ○「花子さんのシュートのイラストが両手投げになっており、芸が細かい。」ライ！代ゼミ！！○推定身長250cmのバスケット選手ってどういうことやねん。○数ⅠAなんだけども、今年もさ、太郎と花子イチャつくなよwww。毎年イチャついてるやんw。○ゴールと同じ高さからシュートする怪物。太郎ジャンプしなくてもリング届くやん  
○定規で失格、全科目無効

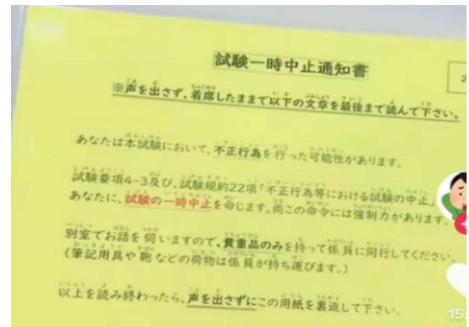


○TikTokに居た！2人のうち1人！??→

数学② ○ピーマン分類法にハマっている。区間推定がどうしても解答のようなすっきりした形にならない。○桜の開花や花子さんの結婚資金積立が素敵だったね

理科② ○生物選択者落とす気??○理科②の訂正紙、試験が始まってから配布されたけれど、化学を第1解答科目で解いていたので、テンポを乱された。○化学第5問を解かずに(気づかずに)終えた。終わった。(少なくとも本校でも4人)

伊藤和修(予備校講師)氏の生物講評



### 総評

1つ1つの設問については、適切に思考力を要求するものが多いのですが、試験全体として考えた場合には、負担が大きすぎる試験でした。各設問の質の確保も重要ですが、全体を見渡しての難易度・ボリューム調整を徹底する必要があります。

共通テストは、超難関大や医学部を目指すような受験生だけが受ける試験ではありません。本試験では、ボリュームゾーンである標準的な学力層(偏差値40~60程度)の学力を適切にはかることが困難な試験であろうと考えます。

また、選択科目である以上は他教科との平均点を揃える必要があります。今回の試験については、共通テストに変わり、適切な統計処理をするだけのデータが揃っておらず、出題スタッフの『勘』で難易度を判断している印象です。センター試験の時代と同様に、目標点を何点として作問しているかの情報を公式に発表し、その目標点に寄せていくように努めて頂きたいと思います。

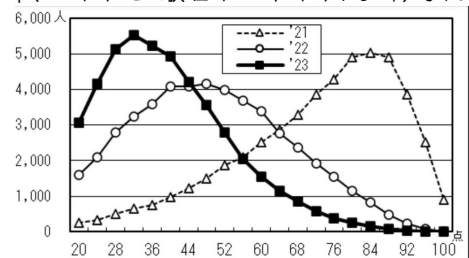
※ 昨年度の平均点48点の試験に対し、生物の問題作成部会は「平均点は目標値にほぼ該当する」と発表していることから、約50点を狙っているものと考えられますが、今回の試験は50点には遥かに届かないものと考えられます。

このような状態が続けますと、問題作成部会の「思考力重視型の学習への転換を促す」という目標は「高等学校において生物学を学ぶ学生数の減少」という結果になり、学習の転換以前の問題として、日本の生物教育の質の低下や学ぶ機会の減少につながると考えます。後々、「生物学を学ぶ学生が減ったきっかけは2023年の共通テストだった」と言われかねない、そんな試験でした。

例年のように「この設問の正答率は低かったが学力の識別力は高かった」というような詭弁ではなく、真摯な姿勢で全体としての難易度の調整、標準的な受験生に対する試験全体としての識別力の確保、科目選択による有利不利が発生しない試験の作成に努めて頂きたいと思います。

○化学「昨年並に難しい」という表現はすごく適切だと思う。ただ単に「昨年並」とするのとワケが違う。昨年と同様、相変わらず共通テストの化学はおかしなことになっており、化学離れを助長しているということを忘れてはならない。

戦い済んで...○大学入試センター、今年の地歴のテスト作り上手すぎでは?○理科②得点調整がありそうですね。科目間でこんなに差が開くテストをつくるなんて、酷いです。受験生をバカにしています。○得点調整センター試験30年で2回、共通テスト3年で2回。○共通テスト生物の得点分布(ベネッセ・駿台データネットより)なんじゃこりゃ!→○(生物)解答訂正入った模様。4点上がるかも。第5問問2「濃度勾配」→「濃度勾配」ちなみにツッコミどころは、訂正すべきはそこじゃなく、難易度ね。



○共通テストの理科の得点調整が発表されました。生物で最大12点、化学で最大7点上がります。○生物の得点調整これだけ?今までの努力も将来も台無しにされた人がどれだけいると思ってんの?絶対に許さない。

そして追試験○共通テスト追試験の問題は、福島民友のサイトにアップされています。(ありがたやありがたや) <https://minyu-net.com/nie/post-2.php> ○大学入試センターの解答ページを見ると、地理(AとBの共通問題、地域調査)、物理基礎、生物基礎、ドイツ語で訂正があったようで、訂正多すぎでは?

本校の先生方による問題分析は年度末に公表されます。3年生の皆さん、**国公立大学の出願は2月3日必着**です。遅くとも**2月1日には速達書留**で出してください。 **ガンバレ受験生**

